

「令和3年度学生生活実態調査(第30回学部学生生活実態調査)」のフォローアップ

この表は令和3年11月に実施した第30回学生生活実態調査の結果、「問題がある」、「改善の必要がある」、あるいは「他より優れている」と判断された事項を研究科(教育部)ごとにとりまとめ、その対応計画とその計画についての進捗状況を示したものです。これら事項につきましては定期的に進捗状況を更新していく予定ですので、学生、教職員のみなさまにつきましてはお気づきの点や改善に係るアイデア等ございましたら、下記までお知らせくださいますよう、お願いいたします。

連絡先：徳島大学学生支援課  
E-mail：kyseikatuk@tokushima-u.ac.jp

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項(問題点や優れた点)	対応計画等		
総合科学部	「就職希望」の学生の比率が最も高く、「就職や進路に不安がある」学生の比率が全学部の中で最も高かった。	「キャリアプラン入門」、「キャリアプラン」、「短期インターンシップ」など授業を通じてキャリア教育を行っている。	1年次より3年次にかけ「キャリアプラン入門」、「キャリアプラン」、「短期インターンシップ」など授業を通じてキャリア教育を行っている。	1年次より3年次にかけ「キャリアプラン入門」、「キャリアプラン」、「短期インターンシップ」など授業を通じてキャリア教育を行っている。さらに、インターンシップの考え方の変化に関するFDを行うなどして、キャリア教育の質を高めている。
	総合科学部の学生は「地元志向」がかなり強いように思われる。	地元で評価されていると受け取れるが、さらに県外学生も増えていくよう、積極的に総合科学部を広報していく。	広報班が実際に周辺県外に出向いている他、Webによって広報やオープンキャンパスを行うなど、主として高校生対象に情報を県外にも発信している。	広報班が実際に周辺県外に出向いている他、Webによる広報、オンラインおよび対面でのオープンキャンパスを行うなど、主として高校生対象に情報を県内外にも発信している。
	授業の満足度では、「満足している」および「ほぼ満足している」の合計は、総合科学部87%で全学平均の82%を上回っている。	授業の質をさらに上げるよう継続的にFDを行ってきたので、今後も継続していく。	参加率を上げるためにFDを教授会議終了後やオンラインによって行うなどしつつ、授業の質を高めるための活動を継続して行っている。	参加率を上げるためにFDを教授会議終了後やオンラインによって行っているが、その内容もChatGPIなど、今日的話題を積極的に取り込み、授業の質を高めるための活動を継続して行っている。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項（問題点や優れた点）	対 応 計 画 等		
医学部	通学途中に交通事故に遭遇する事例がある。	交通法規やマナーの必要性を適宜広報し、交通事故を減らす対応を検討する。	メールや掲示による安全運転の周知の検討及び、警察関係者の講演開催の検討をしている。	新入生オリエンテーションで交通事故の防止について注意喚起する。
	授業料免除について周知しているが、申請しなかったり、様式への記入が不備の学生がみられる。	教務システムで周知する。対面で書類を確認できるように感染対策をして進めるよう検討する。前期に一括申請した学生は後期も申請する予定であるので、申請がない学生には連絡して対応する。	ホームページでの周知では、わかりやすい表現を心がけている。学生係窓口の対応では、正確、丁寧を第一に行っている。	左記と同様
	アルバイトをしている学生が多数みられる。学業との両立が憂慮される。	授業料免除ならびに学生金庫の活用などを周知して、経済的な支援ができるように進める。		左記と同様
	学生の一部に飲酒過多の傾向がみられる。	過度な飲酒の危険性について学生全体に周知を図る。	コロナ禍とはいえ、新入生歓迎時期に飲酒の機会もあると思われるので、危険性を特に周知するように心がけている。	新入生オリエンテーションで飲酒の節度について注意喚起する。
	昼食時に蔵本会館学生食堂が混雑すると感じる学生が多い。	昼食時の混雑の解消は以前から望まれており、蔵本地区だけでなく大学全体の課題であり、大学全体で協力して、改善していくことを検討する。	全学的にとらえる必要があるという方向性は堅持し、全学委員会にも働きかけることを検討している。	蔵本地区生協に昼食時の混雑解消について学生の要望があることを伝え検討の依頼をする。
	学生が迷惑行為を行っているとの事例がある。	学生への注意喚起および防止策の適切な対策を検討していく。	メールや掲示による注意喚起の周知の検討をしている。学生委員会では、事案への迅速な対応を心がけている。	注意喚起の実施や事案の迅速な対応を心がけている。
	サークル活動への加入は過半数をこえ、新型コロナの感染対策を徹底しながら活動している。	問題点や要望の相談を受け、新型コロナ感染状況においてサークル活動をサポートする。	コロナ禍に対応した課外活動のフォローを行っている。特に医学部は大学病院と近接していることもあり、特に実習への影響は大きいので、学生委員会、学生係では、実習に影響が出ないように課外活動の助言・指導をしている。	感染者に対して聞き取りを行い学内で感染が広がらないように指導をしている。
	キャリア支援室の利用が少ない。	医学部に特徴のある就職事情に対して、キャリア支援室が積極的にどのように促進できるかを検討していく。蔵本地区と常三島地区の両方にあり、利便性が良いことについての周知も検討する。	指導教員が学生の教務・学務に関することについて、直接話せる環境にあることを生かし、学生係と指導教員との連携を深めて、指導に当たっていけることを周知することを検討している。	医学部学生の就職事情によりキャリア支援室を利用する需要が少ないが、就職活動する学生の需要にあわせキャリア支援室を紹介している。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項（問題点や優れた点）	対 応 計 画 等		
歯学部	アンケートの回収率が低い。	アンケート回答依頼を対面で行う。	対面講義の際に学生に直接呼びかけるよう教員に依頼した。	アンケート回収時期には引き続き呼び掛けを依頼している。
	勉学に悩みや不安を抱く学生が増加した。	コロナ禍での非対面授業の増加やサークル活動停滞にともな	学生が直接接触できる機会を増やすことを教員に依頼するとともに、大学ルールおよび大学病院ルールが認める範囲内でサークル活動等の制限を緩和した。	行動制限が解除されたことにより変化があるか評価中である。
	盗難被害の報告が多い。	盗難の詳細な状況（盗難にあった物品、盗難場所が大学構内なら屋外・屋内、屋内なら部屋の種類等）を明らかにし、盗難の頻度が高い状況にフォーカスした対応を取る。	歯学部学生に、より詳細な盗難被害状況調査アンケートへの回答を依頼したが、アンケート回答数が少なく、傾向の分析には至っていない。	授業終了後に講義室を施錠することにより物品の放置が減少し、ひいては「盗難」が減少するか、評価を開始した。
	オフィスアワーの利用経験者が増加した。	非対面授業の補完的な意味合いでの利用が増えた可能性がある。対面授業が増えても利用を続けるよう働きかける。	対面授業を再開してもオフィスアワーの積極的な利用を呼びかけるよう、教員に依頼した。	原則として対面授業になったことにより変化があるか評価中である。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項（問題点や優れた点）	対応計画等		
薬学部	授業料免除制度を知らなかった学生の割合が他学部に比べて高い。	学内掲示板にて授業料免除制度を掲示すると共に、定期的にメール配信にて制度を周知する。	学内掲示板で授業料免除制度を掲示し、メール配信による制度の周知を行った。	授業料免除制度の申請者が増加しており、周知が行き届いている。
	大学生生活の意義を「勉強や研究」とした学生の割合が62%と最も高かった。	学生が大学生生活の意義を審念熟慮する機会を得るために、キャリアデザイン講義など生涯学習を含む講義を早期の段階から引き続き実施する。	「キャリアデザイン講義」や「薬と社会の探訪」など、生涯学習や大学生生活の意義を考える講義を1年生から実施した。	生涯学習や大学生生活の意義を考える講義を引き続き実施できている。
	悩みなど問題を抱えた学生の相談相手として友人が最も多く、一方で誰にも相談しない学生が相当数いる。	相談窓口として、クラス担任や学生相談室の積極的利用を促す啓発活動・周知を行う。	積極的利用を促す啓蒙活動をより促進するために、キャンパスライフ健康支援センター保健管理部門長を講師に薬学部でFD研修会を行った。	毎月クラス会を設け、FD研修会で得た知識を基に、学生との面談を行なっている。
	何らかの心身の不調を抱えている学生の割合が前回調査の4割以上から3割程度へと改善された。	心身の健康維持管理を目的としたキャンパスライフ健康支援センターの有効利用を促す啓発活動・周知を引き続き行う。	有効利用を促す啓蒙活動をより促進するために、キャンパスライフ健康支援センター保健管理部門長を講師に薬学部でFD研修会を行った。	不調を抱えている学生をキャンパスライフ健康支援センターに早期に繋げられるように、毎月クラス会を設けて学生の現状把握に努めている。
	88%の学生が授業に満足している。	引き続き学生のニーズの把握に努め、高い満足度の維持を目指す。	薬学部卒業予定者と学部長との懇談会の開催や「教育に関するアンケート」調査の実施により、教育課程に対する満足度等のニーズ把握に努めた。	学部長、教務委員長、学務委員長、学生委員長、就職委員長と各学年の総代との懇談会を設けるなど、学生のニーズ把握に引き続き努めている。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)	
	事項(問題点や優れた点)	対応計画等			
理工学部 (社会基盤 デザイン コース)	アルバイトによって勉学に支障が生じている 学生が1割以上みられる。	クラス担任または指導教員により、個人面談で経済的な問題がないかを確認して、ある場合には奨学金などの制度について指導する。	クラス担任または指導教員により、個人面談で経済的な問題がないかを確認した。問題がある学生には奨学金などの制度について指導した。	左記の内容を継続的に実施している。	
	何らかの悩みや不安がある学生が6割以上であるが、誰にも相談しない学生が2割以上いる。また、学生相談室を3割程度が知らない。	クラス担任または指導教員により、個人面談で悩みや不安の有無について相談するとともに、学生相談室を紹介する。	クラス担任または指導教員により、個人面談で悩みや不安がないかを確認した。また、学生相談室あるいはキャンパスライフ健康支援センターを紹介した。	クラス担任または指導教員により、個人面談で悩みや不安がないかを確認した。また、学生相談室あるいはキャンパスライフ健康支援センターを紹介した。	左記の内容を継続的に実施している。
理工学部 (機械科学 コース)	経済状況を読み取ると、自宅外からの学生が多いためアルバイトの従事時間が、他コースよりも長いようである。しかしながら、家庭年収の低い者で授業料免除の制度を知らないものが比較的多いことが分かった。また、就職情報の入手方法がインターネットが大部分で、キャリア支援室の利用が非常にすくない。	アドバイザー面談等を通じて、授業料免除制度およびキャリア支援室について周知する。キャリア支援室の活動については、説明会でも連絡しているが、面接練習等について行っていることも周知する。	授業料免除制度およびキャリア支援室について、アドバイザー面談で周知するように依頼した。キャリア支援室の活動については、就職説明会での周知を依頼した。適宜アドバイザー面談等で周知することも依頼した。	授業料免除制度についてアドバイザー面談で周知した。キャリア支援室の利用については、コース内の就職説明会で周知した。	
理工学部 (応用化学 システム コース)	質問51、52 授業の満足度 受講生の8割程度が授業に満足、ほぼ満足であり(質問51)、また、質問52で不満な学生も「授業が難しすぎる」と「つまらない」=簡単すぎるがほぼ同数となっている。受講生のニーズ・レベルに合致した授業が実施されている。	今後も授業内容のレベルを保ち、充実させていく。	授業内容のレベルを保ち、年次経過に伴う授業内容の更新を進めている。	授業内容のレベルを保ち、年次経過に伴う授業内容の更新を進めている。	
	質問53、54 オフィスアワー オフィスアワーについて、利用したことが無い、知らない、という意見が8割以上と多い。	オフィスアワーで対面時間・相談時間を指定すると、その時間以外での相談を断ることにつながるので、オフィスアワーを廃止して、事前に入室時間を調整する方法に変えることを検討する。	Teamsなどオンライン媒体での面談が可能となっており、相談のために居室に入室してもらう必然性は無くなっている。なお、シラバス上でオンラインオフィスアワーを設定している。オンラインではオンデマンドで対応する場合もある。	Teamsなどオンライン媒体での面談が可能となっており、相談のために居室に入室してもらう必然性は無くなっている。なお、シラバス上でオンラインオフィスアワーを設定している。オンラインではオンデマンドで対応する場合もある。	オフィスアワーで指定された時間外でも、学生のアポイントあるなしに関わらず、可能な限り対応し相談に応じている。
	質問55 クラス担任制度 クラス担任制度について、意味がない、利用したことが無い、関りが無い、制度を知らない、あってもなくても変わらない、機能していない、という否定的な個別意見が多い。	入学時のオリエンテーションでクラス担任制を紹介しているが、学生には必要性を感じられていないようである。オリエンテーションで、担任の所掌事項：出席状況や単位取得状況が悪いなど問題があると担任から保証人に直接連絡がいくこと、等を周知する。 そもそも、アカデミックアドバイザー制があるので、各クラスに2名の担任は仕事量を考えると過剰な配置であり、クラス担任制度の整備について教務委員会に要望する。	クラス担任制度の整備について教務委員会に要望した。	クラス担任制度の整備について教務委員会に要望した。	教務委員会では「教育プログラムの点検・評価に係る改善の進捗状況について」に関して、「担任制実施状況について確認し、必要があれば改善策を検討」としているが、理工学部では、学生により手厚い「アドバイザー教員制度」が機能している。 ※全学の教務委員会では「担任制全学導入のためのガイドライン」の一部改訂が行われ、面談記録の保存などが追加されている。
	質問57、質問58 図書館 コロナ禍においても図書館の利用頻度が高く、特に自習スペースとして頻繁に活用されているのが素晴らしい。利用頻度が高いためか、スペースが狭いという苦情が散見される。	図書館の自習スペースを補充するために、現在コロナ禍で休止中となっているオープンスペースの利用再開を考える。	コロナ禍が収束していないので、オープンスペースの利用再開は時期尚早である。	コロナ禍が収束していないので、オープンスペースの利用再開は時期尚早である。	オープンスペースを含めすべての館内施設が利用可能となっている。
	質問66、67、71 進路(就職) 進路・就職において、キャリア支援室よりも指導教員や就職担当教員からの情報が活用されており、質問71の結果からも、就職に際して学生が専門性を重視していることがうかがえる。質問67の回答項目にはキャリア支援室の選択肢も必要。	今後も、専門性を重視した就職指導を進める。質問67の選択項目にキャリア支援室を追加する。	指導教員や就職担当教員による情報提供や面談を通じた支援を強化し、専門性を重視した就職指導を継続して進めている。質問内容についてはR5実施予定のアンケートで検討する。	指導教員や就職担当教員による情報提供や面談を通じた支援を強化し、専門性を重視した就職指導を継続して進めている。質問内容についてはR5実施予定のアンケートで検討する。	指導教員や就職担当教員による情報提供や面談を通じた支援を強化し、専門性を重視した就職指導を継続して進めている。 R5実施のアンケートでは、「キャリア支援室の情報」の選択肢を「キャリア支援室の情報又は就職相談員」に改訂した。
	質問73 キャリア支援室 上記と関連するが、就職に際して専門性を重視しているようで、キャリア支援室の利用は低い。	キャリア支援室の利用が必要な学生のためにキャリア支援室の情報も必要だが、本学HPの「在学生・保護者の皆様へ」のページにキャリア支援室の項目が無いので修正する。	「在学生・保護者の皆様へ」のページから、「就職・進路について相談したい」にある「在学生のみなさまへ」に入れば、深いレベルであるがキャリア支援室の情報にアクセスすることができる。	「在学生・保護者の皆様へ」のページから、「就職・進路について相談したい」にある「在学生のみなさまへ」に入れば、深いレベルであるがキャリア支援室の情報にアクセスすることができる。	「在学生・保護者の皆様へ」のページから、「就職・進路について相談したい」にある「在学生のみなさまへ」に入れば、キャリア支援室の情報にアクセスすることができる。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項(問題点や優れた点)	対応計画等		
理工学部 (電気電子システムコース)	大学事務室の対応に満足している学生が多い。	現状の姿勢を継続していただきたい。	引き続き現状の姿勢を継続していると思います。	現状で問題ないので、引き続き現状の姿勢を継続していると思います。
	クラス担任制度への不満に関するコメントが多く見受けられましたが、アンケート的(数的に)には満足しているように感じる。	現状のクラス担任制度で問題ない。過度な教育指導は、学生自身の成長の糧にならないと考える。	引き続き、現状のクラス担任制度で問題ないので、現状の姿勢を継続していると思います。	現状で問題ないので、引き続き現状の姿勢を継続していると思います。
	進学への意識が高く、つまり研究への関心が高い。	現状で問題ない。SIH道場やSTEM演習の成果と考える。	現状で問題ないので、引き続き現状の姿勢を継続していると思います。	現状で問題ないので、引き続き現状の姿勢を継続していると思います。
理工学部 (知能情報コース)	質問24、25 生活費や学費のために勉学に支障が出るアルバイトをしている学生が割合的には少ないが一定数いる。	新年度ガイダンス等において、計画的なアルバイトを心掛けるよう指導する。	学生生活への支障ができるだけ出ないよう今後も継続的に指導していきたい。コロナ禍の影響で生活費や学費を得るためにアルバイトに頼らざるを得ない学生もいると思われることから、全学的な対応もお願いしたい。	学生生活への支障ができるだけ出ないよう今後も継続的に指導していきたい。コロナ禍の影響で生活費や学費を得るためにアルバイトに頼らざるを得ない学生もいると思われることから、全学的な対応もお願いしたい。
	質問30 体調、健康面では、男子より女子の方が体調変化を感じている。	新年度ガイダンス等において、健康面の相談先(キャンパスライフ健康支援センター等)を示す。	今後も引き続き学生へ発信していきたい。相談を受けた場合は迅速な対応を心がけている。	今後も引き続き学生へ発信していきたい。相談を受けた場合は迅速な対応を心がけている。
	質問40 勉学、就職や進路などの将来への不安・悩みを持っている人が結構いる。	学生委員や担任に相談しやすい雰囲気をコース内に作る。相談があった場合は親身に対応し、場合によっては、適切な相談先(総合相談室等)を紹介する。	今後も親身な対応に継続して取り組んでいきたい。	今後も親身な対応に継続して取り組んでいきたい。
	質問57 図書館の利用がどのコースより少ない。	情報系の学生なのでネット上の情報を活用している可能性があるが、図書館という情報源もあることを授業内で示してみる。	推薦した学生用図書(図書館から依頼されるもの)の案内なども含め、今後も継続的に発信していきたい。	推薦した学生用図書(図書館から依頼されるもの)の案内なども含め、今後も継続的に発信していきたい。
理工学部 (光システムコース)	質問17 授業料免除の制度を知らない学生がいる。	授業料免除の制度について年度初めのオリエンテーションでアナウンスする。	来年度初めのオリエンテーションに向け、アナウンスの内容を準備している。	年度初めの新入生オリエンテーションの説明資料に含め、アナウンスを行った。
	質問45 キャンパスライフ健康支援センター総合相談部門を知らない学生がいる。	キャンパスライフ健康支援センター総合相談部門について、年度初めのオリエンテーションでアナウンスする。	来年度初めのオリエンテーションに向け、アナウンスの内容を準備している。	年度初めの新入生オリエンテーションの説明資料に含め、アナウンスを行った。
理工学部 (数理学部コース)	自宅外通学者における、経済状況が大変苦しい、やや苦しいが複数いる。	生活困窮などの相談をしやすい環境を構築する。担任は、面談時に必ず相談を聞き、面談時期以外にも担任、学生委員にいつでも相談できることを逐次学生に伝える。	どのような解決方法があるかアドバイスした。また、多くの可能性を探るため、担任、学生委員だけでなく幅広い意見を聞いた方がよいだろうということで、キャンパスライフ健康支援センターでも相談できることを伝えた。	学生の訪問がなくなるまで対応を継続した。
	バイトにより勉学に支障が生じている学生がいる。	担任は、面談時に必ず悩み・不安がないか聞き対応する、また、面談時期以外にも担任、学生委員にいつでも相談できることを逐次学生に伝える。	バイトの必要性を聞き、なぜ勉学がおろそかになるのか問題点を洗い出し、どのような解決方法があるか一緒に考えた。	学生の訪問がなくなるまで対応を継続した。
	現在、なにがしかの悩みや不安を抱えている学生が複数いる。	担任は、面談時に必ず悩み・不安がないか聞き対応する、また、面談時期以外にも担任、学生委員にいつでも相談できることを逐次学生に伝える。	担任と学生委員で悩みに関し相談を受けたが、専門家でないに対応できない内容であったため、キャンパスライフ健康支援センターに連絡をとり共同で対応した。	学生の訪問がなくなるまで対応を継続した。
	「進路、就職について信頼できる相談相手は誰ですか」という質問に対し、相談相手がいないという学生が数名いた。	担任は、面談時に必ず悩み・不安がないか聞き対応する、また、面談時期以外にも担任、学生委員にいつでも相談できることを逐次学生に伝える。	進路・就職に関して悩み等がある場合には、就職担当教員や担任が対応することを学生に伝えた。また、就職セミナーの案内等も行った。	学生の訪問がなくなるまで対応を継続した。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項（問題点や優れた点）	対 応 計 画 等		
理工学部 (自然科学 コース)	質問15で交通事故経験者が複数いることから、注意喚起する必要がある。質問13で自転車通学者が多いことから、スマホ運転、傘さし運転、無灯火運転などの道路交通法違反を行わないようにすること、自転車保険に入ることもとも推奨したい。	ガイダンスにて注意喚起しているが、さらに強調する。「学生生活の手引き」においても強調を依頼する。	自然科学コース全学生宛に教務システムメッセージより注意喚起をおこなった。	全学年に対し、ガイダンスにて再度注意喚起を行った。学生生活の手引きについて、追加記述を依頼した。
	質問32のみからの判断ではあるが、自然科学コース(系)の喫煙学生は「ときどき吸う」1名のみであり、絶対数は全コース中で最も少なく、喫煙開始の防止は成功しつつあるといえる。しかしながら、本コースの建物出入口前に開放型喫煙所が設置され、非喫煙学生が受動喫煙被害にあっているほか、喫煙学生においても「ときどき吸う」から「毎日吸う」への移行防止の観点から悪影響を与えていると考える。	受動喫煙防止のため、また喫煙開始防止の観点から自然科学コース建物前の喫煙所の利用停止、移転、改修、廃止等について検討するよう、安全衛生委員会宛にコースより要望を提出している。本コースでは今年度はじめのガイダンスにおいて、喫煙は人体に有害であり、安易な気持ちで開始すると、ニコチン依存を発症し自分の意思で止めるのが困難になる可能性があることを口頭で注意喚起した。全学向け「学生生活の手引」p.69には喫煙の有害性などの記述が一切なく追記の必要性があるように思う。また、全学で入学時に、喫煙の有害性を理解するための動画の視聴必須化などを提案したい。	自然科学コース全学生宛に教務システムメッセージより注意喚起をおこなった。安全衛生委員会に宛てた喫煙所の利用停止要望は実現していない。	全学年に対し引き続き、ガイダンスにて喫煙の人体への有害性や、職種によっては就職活動にマイナスに働く可能性があることについて注意喚起した。学生生活の手引きについては記述が古かったため改訂を依頼し、改正健康増進法が正しく反映されるよう改訂していただいた。本コースの建物入り口前に存在する喫煙所に関しては、引き続き学生から受動喫煙の苦情が来ており、学生の健康被害を防ぐべく早急な対策を望んでいる。
	質問42でアカハラ経験1名とあるが、詳細を確認できていない。質問45で学生相談室の認知度が低い。	総合相談室の利用方法についてガイダンスで周知しているが、さらに強調する。	自然科学コース全学生宛に、教務システムメッセージにて通知した。	全学年に対しガイダンスにて、学生生活において困った点について、学生委員や総合相談室への相談を促した。
	自由記入欄で宗教勧誘された経験が多く報告されている。	カルト宗教等についてガイダンスにて注意喚起しているが、さらに強調する。	自然科学コース全学生宛に、教務システムメッセージより注意喚起をおこなった。	全学年に対し、ガイダンスにて再度注意喚起を行った。

部局名	調査結果から読み取れる事項とその対応計画		対応計画実行の進捗状況等 (2023.3月HP公開内容)	対応計画実行の進捗状況等 (左記のフォローアップ)
	事項（問題点や優れた点）	対 応 計 画 等		
生物資源産業学部	学生生活で「勉強や研究」を重視する学生が前回より増加し（40%から54%へ）、「明確な目的はない」との回答が減少した（20%から13%へ）。	学生への指導改善の取り組みを継続する。	ポートフォリオ面談などを通じた学生への指導改善の取り組みを継続している。	学生への指導改善の取組を継続している。
	健康状態について、男子学生の31%、女子学生の43%が何らかの気になる症状があるとしている。	クラス担任や指導教員からの生活習慣に関する助言や、保健管理センターと連携した対処を推進する。	ポートフォリオ面談や研究室指導におけるクラス担任や指導教員からの生活習慣に関する助言や、保健管理センターと連携した対処を推進している。	面談で助言し、保健管理センターと連携した対処を継続している。
	悩みの内容の主なものは、「就職や進路」および「勉強」である。	クラス担任や指導教員との面談での助言や、キャリア支援室の利用を推進する。	ポートフォリオ面談や研究室指導におけるクラス担任や指導教員との面談での助言や、キャリア支援室の利用を推進している。	面談で助言し、キャリア支援室の利用を勧める取り組みを継続している。
	2割程度の学生が、悩みを「誰にも相談しない」と回答している。	クラス担任や指導教員が相談相手となれるような体制をより強化する。	クラス担任や指導教員が相談相手となれるよう、面談の実施の徹底をはかることで取り組みを強化した。	相談相手となり、悩みを聞ける面談の実施を継続している。
	大学事務室への満足度が高い（ほぼ満足以上88%）。	特になし。	特になし。	事務は学生に対して適切な対応を継続している。
キャリア支援室を利用したことのない学生の割合が高い（87%）。	オリエンテーションなどでキャリア支援室についての周知を強化する。	クラス担任や指導教員が相談相手となれるよう、面談の実施の徹底をはかることで取り組みを強化した。	助言指導によりキャリア支援室の利用を進める取組を強化し、継続している。	